

2013年5月2日

東京農業大学農業経済研究室

江戸東京野菜に関するヒアリング項目

定義

- 1: 江戸東京野菜の定義はどのようなものか。また定義や分類の仕方にややバラつきがあるようだが、統一はしないのか。
- 2: 伝統野菜、江戸野菜、東京野菜、江戸東京野菜の分類を図にしたものなどはあるか。
- 3: 京野菜や加賀野菜等、他の伝統野菜を意識していること、またモデルとしている部分はあるか。

目的

- 4: 江戸東京野菜を振興し、守っていく目的、狙いはどこにあるか。
- 5: 全国各地に伝統野菜が存在するが、江戸東京野菜の強みは何か（他の伝統野菜との差別化として）。
- 6: 「江戸東京野菜」を他県でも栽培し、そこで地産地消することについてどう思うか。
- 7: 東京だけではなく、全国的に江戸東京野菜を流通する意向はあるか。

普及状況

- 8: 江戸東京野菜の生産量・収益・栽培面積などの統計資料は存在するか。
- 9: 江戸東京野菜の栽培を始める農家もいるが、今までにおいて栽培を止める農家はいたか。また、その理由とは。
- 10: 江戸東京野菜コンシェルジュの修了書をもらった人は現在までに何人いるのか。また、どのような人が修了書もらい、その経験が活かせる道はあるのか。

活動主体

- 11: どの組織が主体となって江戸東京野菜に関する活動を行っているのか。
- 12: J A東京むさしは現在、江戸東京野菜に関する活動を行っているのか。
- 13: 江戸東京野菜コンシェルジュはどこが運営しているのか。

認証

- 14: 江戸東京野菜はどここの団体、または誰が認定するのか。

取り組み事例

- 15: 小金井市が積極的に活動を行っているが、小金井市と江戸東京野菜（または大竹さん）の関係を大きく関連づけるエピソードはあるか。
- 16: 小金井市は市内の農家に江戸東京野菜の栽培を委託したが、何かメリットはあるのか。また、小金井市とJ A東京むさしの現在の関係（江戸東京野菜関係での）。

広報

17：テレビ等のメディアに取り上げられることによって、認知や需要に効果はどのくらいあったか。また取り上げられることについてどう感じているか。

18：消費者の、江戸東京野菜などの農産物への関心を高めるのに重要なことは何か。

19：江戸東京野菜はどのような顧客層に広めたいのか、ターゲットの有無は。

20：現在の江戸東京野菜の活動を確立する以前にも「東京ウド」などを生産されていたが、江戸東京野菜が脚光を浴びるようになったきっかけは何なのか。

味・栽培

21：交配種と固定種の味や食感の違いで、代表的なもの。

22：栽培方法は江戸時代当時のままなのか。また、気をつけている部分はあるか。

ブランド化

23：鎌倉野菜のようにブランドを立ち上げないのか。

24：江戸東京野菜普及推進連絡協議会がブランド化を推進するにあたり何か問題点はあるのか。

25：農家は認証委員会(シール等の作成)の結成に前向きか。

26：ブランド力や知名度を上げるための検討中の施策はあるか。

成果（課題）

27：大竹さんは小学校での活動に力を入れているようだが、その取り組みでどのような成果が得られたか。

28：生産農家とのつながりのなかで、江戸東京野菜を育てることのメリット・デメリットはどのようなことが挙げられると感じるか。

今後の展開方向

29：今後どのような活動を展開される予定なのか。

30：今後、江戸東京野菜がどのように発展していくことを望み、また最終的にはどうしていきたいか。

31：都外にも進出やPRをしていく予定はあるのか、またその範囲は。

32：今後、江戸東京野菜に関連で開催したいイベント、出店したいスポットなどあるか。

33：後継者不足が騒がれている今日の日本農業（東京農業）であるが、栽培の難しい伝統野菜を広めるためにはどのような対策をお考えか、またはすでに何か取り組まれているか。

34：今後、江戸東京野菜に対する需要が増えた場合、対応はどうか。

35：江戸の農業の歴史の説明板はあるが、江戸東京野菜を扱っているものばかりではない。今後、江戸東京野菜の説明板の設置の予定はあるか。

大竹さん自身の意見・考え

36：江戸東京野菜の魅力を一言で表現すると。

37：全国各地に伝統野菜が存在するが、それと比較した江戸東京野菜の強みは何か。

38：大竹さんの考えとしては、江戸東京野菜の復活を誰に注目してもらいたいのか。

39：全国の情報やモノが集まる東京から、“江戸東京野菜”を発信することの意義・役割について、ご意見・考えをお願いしたい。

40：大竹さん自身、農業の経験があるのか。

41：大量生産が難しい伝統野菜を、どのようにすればさらに広げていくことができるとお考えか。

研究室との関わり

42：私たち農業経済研究室員が、江戸東京野菜に貢献するためのアドバイスがあればお聞きしたい。本来はその栽培から販売までというのが一番体験的で良いと思うが、大学生の”研究“として江戸東京野菜を捉えるにはどのようにすればよいか。

43：今年の収穫祭(11月1日～3日)に江戸東京野菜の即売店を出店しようと企画しているが、出店・取り扱いの許可、協力していただければそうな農家や10～11月頃に収穫できる野菜などについて。

以 上